

奄美海上保安部便り

令和3年度始動



奄美海上保安部長訓示

令和3年3月24日、新奄美海上保安部長（矢野 秀樹）の着任にあたり、職員に対し訓示がありました。

「新体制の構築と心構え」、「若手職員の育成」、「事故、不祥事の防止」の3点と、様々な業務の対応のモットーとして「力まず、怯まず。焦らず、冷静に！」と訓示がありました。

保安部長からのコメント

十管勤務は三度目、初任地の鹿児島保安部巡視船おおすみ、奄美は巡視船あまぎ船長に続き二度目、ご縁のある地域で勤務でき大変光栄です。地元の期待と信頼に応えていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひします。

韓国漁船船長を 無許可操業容疑で現行犯逮捕



韓国漁船に接近する巡視船かいもん

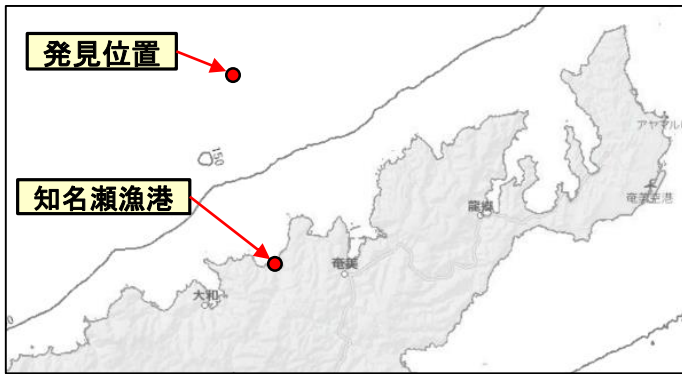
令和3年1月21日午後1時28分頃、しょう戒中の鹿児島航空基地所属の航空機MA952が、奄美大島西方の我が国排他的経済水域において操業中の韓国漁船を確認、その後、鹿児島海上保安部所属の巡視船「こしき」、串木野海上保安部所属の巡視船「とから」、奄美海上保安部所属の巡視船「かいもん」が当該漁船と会合し、直ちに停船命令を発したところ、午後2時46分頃停船したので、海上保安官が移乗し、午後3時21分、奄美大島西方約300kmの海上において、当該船舶の船長KIM SUHUN（韓国人47歳）を「排他的経済水域における漁業等に関する主権的権利の行使等に関する法律」違反（無許可操業）で現行犯逮捕しました。

鹿児島海上保安部は、韓国漁船船長を取調べた結果、同法律違反（無許可操業）の事実を認め、被逮捕者の代理人から担保金の提供を保証する書面（保証書）の提出がなされたことから、同法律に基づき、1月22日午後4時15分に船長を釈放しました。

※ 被疑船舶

| | |
|-----|---------------------------------|
| 船種 | 漁船（はえ縄） |
| 船名 | 第808CHEONG NAM号（だい808 チョン ナムごう） |
| トン数 | 44トン |
| 乗組員 | 船長を含む9名（韓国人4名、ベトナム人5名） |

小型船舶未帰還船情報



令和3年1月21日午後1時55分頃、「奄美市名瀬知名瀬漁港を本日午前9時頃に出港し、午後零時頃に帰宅予定であった小型船が返ってこない」と小型船船長の妻から118番通報がありました。古仁屋海上保安署所属の巡視艇「いそなみ」及び鹿児島航空基地所属の航空機で捜索していたところ、同日午後5時45分、知名瀬港の北約15kmの海上において無人の小型船を発見しました。引き続き付近海域を捜索しましたが、船長の発見に至っていません。

自己救命策の確保「3つの基本」
万が一、海に転落した場合、海に浮くこと、ただちに救助要請が必要不可欠です。
① ライフジャケットの常時着用
② 携帯電話など連絡手段の確保
③ 海のもしもは「118番」

漁船浸水（沖永良部島沖）



令和3年3月18日(木)午前6時13分頃、「夫から船が沈みそうだと連絡があった。」と漁船船長の妻から118番通報がありました。奄美海上保安部では、巡視船「かいもん」を現場へ急行させ、同7時55分、漁船船長と会合し、同8時10分、巡視船かいもん搭載艇により船長を救助しました。船長に怪我は無く、浸水した漁船は僚船に曳航され、和泊港へ入港しました。浸水した漁船は、3月17日午前5時頃、沖永良部島和泊港を出港、沖永良部島国頭岬灯台の南南東約40kmの海上でマグロ漁を行っていましたが、翌18日午前5時10分頃、漁船船長が機関室に海水が浸水しているのを認めたため、当庁へ救助要請があったものです。

奄美市笠利沖流木対応



長さ20m、直径約1m以上の巨大な流木



巨大な流木を名瀬港へ曳航し岸壁へ係留



クレーンで陸揚げし解体処分

令和3年2月4日、小型船船長から奄美保安部あて、奄美市笠利崎北東沖のトンバラ岩付近にて流木を発見した旨の通報がありました。

奄美海上保安部は、巡視船「かいもん」を現場に向かわせたところ、長さ約20m、直径約1m以上の巨大な流木で、根付きで漁網が絡まっており、通航船舶にとって危険な障害物となる漂流物でした。

流木を巡視船「かいもん」にて名瀬港まで曳航し、翌日、自治体に引き渡し解体処分されました。

与論島への医療用酸素ボンベ搬送 ～医療支援～



令和3年2月16日午後7時30分頃、鹿児島県危機管理防災局から第十管海上保安本部運用司令センターあて、巡視船による医療用酸素ボンベの搬送要請がありました。これは、与論島内の医療機関において使用している医療用酸素ボンベについて、海上荒天により、今後、フェリーの欠航や抜港のため補充できない可能性が高くなり、早急に酸素ボンベの搬送が必要となったことによるものです。

このため奄美海上保安部では、巡視船「あまぎ」により医療用酸素ボンベ16本を奄美大島から与論島まで搬送し、17日午前2時25分頃、与論港供利において無事引き渡しました。

なお、与論港供利には、深夜にもかかわらず与論町長自ら巡視船「あまぎ」の入港を出迎え、感謝の言葉をいただきました。

フェリーターミナル警戒

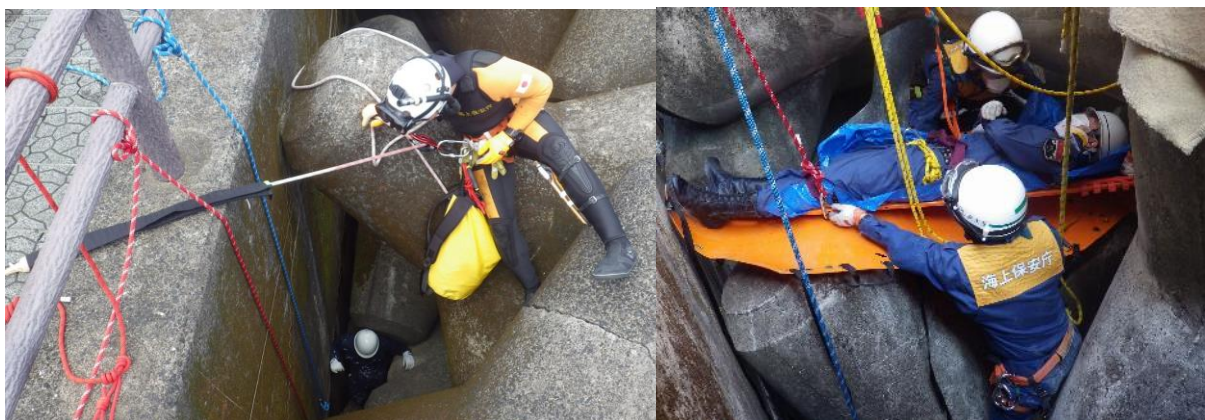


年度末の繁忙期にあたり、フェリー等に対するテロ警戒、船内窃盗・暴行等の犯罪の未然防止及び見送り者の岸壁からの海中転落防止のため、名瀬港フェリーターミナル及びフェリー岸壁の警戒を実施しました。

新型コロナウイルスの影響で自粛ムードの中、恒例の紙テープはありませんでしたが、フェリーターミナルは見送りの人で賑わっていました。

令和3年3月27日(土)～3月28日(日)の2日間(鹿児島～沖縄航路の上り便)

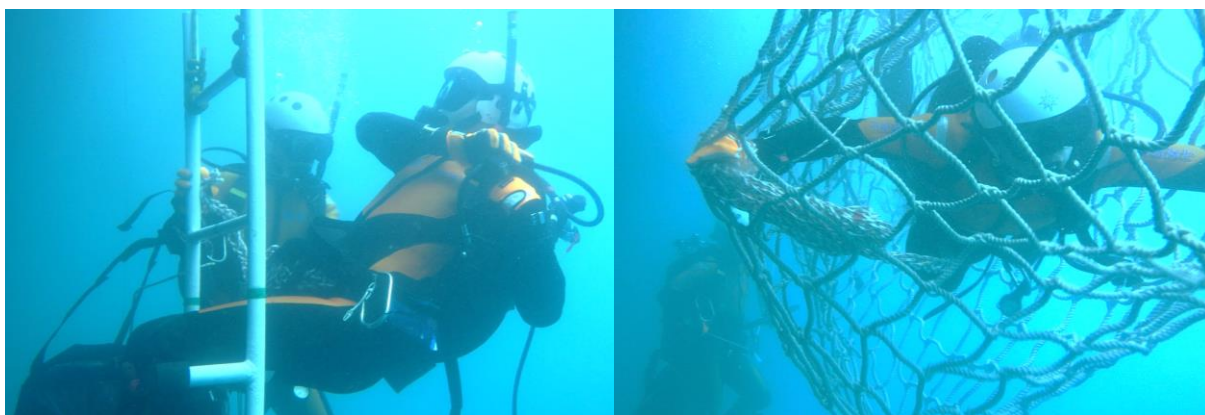
巡視船「あまぎ」 救助訓練



転落者の救助訓練



沈下防止浮体(アクアリフター)の取扱い訓練



転覆船を想定した搜索救助訓練

巡視船「あまぎ」は、各種訓練に取り組み、救助技術の向上を図っています。
消波ブロック転落者の救助訓練、転覆船対応を想定した沈下防止浮体(アクアリフター)の取扱い訓練及び船内の搜索救助の訓練を行いました。

目指せ！海上保安官

海上保安官募集・採用試験案内



令和3年3月4日(木)、奄美海上保安部巡視船「あまぎ」潜水士2名が、あまみFMみちのしまザ・ワールドに出演し、「海上保安庁の潜水士の紹介」と「採用試験のご案内」について説明しました。

潜水士(海猿)としての日頃の業務や海難救助活動、訓練の様子を紹介し、海上保安官になるための採用試験の案内、学生募集活動を実施しました。

日本の安全を守るため、意欲のある受験生をお待ちしています！

| | | 海上保安大学校 | 海上保安学校 |
|--------|---------|---------------|---------------|
| 受付期間 | インターネット | 8月26日～9月6日 | 7月20日～7月29日 |
| 第1次試験 | | 10月30日、10月31日 | 9月26日 |
| 第2次試験 | | 12月17日 | 10月19日～10月28日 |
| 最終合格発表 | | 2022年1月20日 | 11月24日 |
| 採用時期 | | 2022年4月 | |

詳しくは、下記ホームページまたは奄美海上保安部へお問い合わせください。

海上保安大学校・海上保安学校 学生採用試験情報

採用試験の情報(試験日程・受験資格等)は、下記ホームページまたは最寄りの海上保安本部へお問い合わせください。

海上保安庁 採用試験ホームページ

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/siken.html>



春季大型連休安全推進活動

海で遊ぶ方は必見!!

- ▽風が強いときは泳がない!
- ▽離岸流(りがんりゅう)に注意!
- ▽酔泳危険!



JCG 奄美海上保安部

Water Safety Guide
海上保安庁
詳細はこちら➡



スノーケリングを楽しむために!

スノーケリング必須4点セット



- ①ライフジャケット
- ②スノーケル
- ③水中マスク
- ④フィン(足ヒレ)

- ①スノーケリングの基本を習得してからはじめよう!
- ②スノーケル内に水が入ったら、スノーケルをはずして呼吸をしよう!
- ③パディ行動(二人一組)をしよう!

JCG 奄美海上保安部

Water Safety Guide
海上保安庁
詳細はこちら➡



奄美海上保安部では、令和3年4月29日(木)～5月5日(水)の7日間、「春季大型連休安全推進活動期間」として、プレジャーボートに対する海難防止活動、マリンレジャーに伴う海浜事故防止活動を重点的に実施します。

いよいよマリンレジャーシーズン到来です。潮干狩りや魚釣り、スノーケリングなど海に出かける機会が増えてきます。海に出かけるときは『自己救命策、三つの基本』を守りましょう。

- ・「ライフジャケットの常時着用」 浮いていれば助かる確率が上がります
- ・「携帯電話の携行」 水に濡れないように防水パックに入れて身に着けましょう
- ・「海の緊急電話118番の活用」 救助が必要な時は118番にかけましょう

海の事件・事故は118番



奄美海上保安部

〒894-0034 鹿児島県奄美市名瀬入舟町22番1号
TEL・FAX 0997-52-5811